理事会報告書

１．概要

	第 10 回　理事会
日　時	令和 5 年 2 月 10 日　18:30～20:45
場　所	Web 会議
出席者	理事大山盛樹、井手伸二、山下潤一郎、小泉徹児、小無田彰仁、重松康志、永木照彦、浦川純二、志岐浩二、小柳　傑、飯野朋彦、笹原順哉、池田章子、森健次郎 監事平野英三、柿田謙三、大木田治夫 書記大月雅之、狩浦圭介 事務局坂井孝行 その他古田弘二（第 33 回学術大会大会長）、持永至人（同準備委員長）、山口裕司（同事務局長）、宮内利喜（同支援班班長）

２．理事会議題と決定事項

（１）審議事項

１）第33回学術大会予算について

32 回大会が 200 万円、今回は予算 300 万円。本格的なハイブリッド開催で会場費、食糧費、会議運営費が増額。会場はアルカス佐世保の中ホールを予定。会場費に設備、空調費もかかり合わせて約 67 万円の見積りで前回からプラス 30 万円。パソコンは 25 台で前回からプラス 2 万円。食糧費は 18 万円で情報交換会も実施予定。会議運営費も入念な準備の為、リハーサルも合わせて約 30 万円の増額となっている。学会予算は 240 万円程度を上限としており、会場費、会議の人数、パソコンの台数など妥当性の再検討、削減の工夫、見直しを行う。審議は持ち越しとなった。

２）大村市障害支援区分認定審査会　委員選定について

公募の結果現任の馬場崎先生のみのエントリー。認定審査会自体作業療法士 3 名、理学療法士 1 名、言語聴覚士 1 名という内訳で偏りあるため機会があれば確認を行う。審議の結果、提案通り可決された。

３）長崎市介護認定審査会　委員選定について

公募の結果、定員 6 名に対し 7 名のエントリーあり。現任 4 名、新規 3 名。新規の内訳は、井ノ上病院の菊池先生、小江原中央病院の吉田先生、長崎リハ病院の白石先生。現任は飯野理事、塩塚先生、志岐理事、山下副会長。新規の吉田先生が要件を満たしていないため、その他の 6 名を推薦する。複数の委員会兼務や経験年数などについて、今後、推薦規程の見直しも検討。審議の結果、提案通り可決された。

４）新入会承認について

総会員数 2235 名、在会 1982 名、休会 253 名。入会 0 名、休会 91 名、退会 17 名、復会 1 名。審議の結果、提案通り可決された。

（２）報告事項

１）令和 5 年度 事業予算の件について

先月の時点で収入に対しマイナス 170 万円、今回でマイナス 230 万円。変更点は、収入で休会者が増えてマイナス 25 万円。学会が 300 万円で出ていたので検討事項。また、定時総会がハイブリッドになり予算が増加。来月休会者が増加するようであれば検討の必要も。総会について、ハイブリッド開催となり去年より 40 万円程度増額。会場は未定だが複数ホテルを検討中。臨床実習指導者講習会について、養成者も増えており、負担も大きいため回数減も検討。

２）令和 5 年度 事業計画の件について

前回報告より、5 団体合同災害リハ研修会に変更あり。REHUG のカード使用を予定していたが、J-RAT でも使うため内容を変更。内容は未定。

３）令和 4 年度 保健福祉部研修会について

1 月 28 日に災害保険領域における理学療法というテーマで行い、参加者 28 名。講演 1 に産業医科大学の久原先生、講演 2 三菱重工マネジメント部保健師の伊藤先生の講義。予算 198,000 円に対し、支出 180,270 円。参加者が少なかったが、経験 16 年以上の先生が 75%、アンケート結果は良好。広報時、勘違いで案内が県外に行かなかった。産業保健分野は職域拡大に大きくかかわる分野で、若い先生にも興味を持ってもらえるような企画を立てたい。

４）令和 4 年度 地域ケア研修会について

1 月 14 日に Web で行った。参加者数が少なく、士会指定事業であることや参加費がかかることや広報が原因と考える。群馬県の内田病院から 3 名講師を招き、予算 245,000 円、支出 198,051 円の収支。本来は 1 人 50 分ずつの講義で 17,000 円、3 名で 51,000 円のところ、講師 3 名とも 150 分ずつの拘束があるため 30,000 円ずつとし、源泉の金額も合わせて 106,233 円を振り込み済み。財務規程に準じておらず、また報酬請求書も記載雛形に準じていない。源泉処理作業において事務員が気付いたもの。飯野理事より再度確認し、次回理事会で報告とする。

5）令和 4 年度 長崎地区事例検討会について
3 月 4 日、長崎地区第 3 回の研修会と同日事例検討会を予定。和仁会病院の西山先生が演者。その後研修会もあるため 1 例を予定。

6）令和 4 年度 第 3 回大村・東彼地区研修会について
1 月 21 日に開催し 41 名の参加。長崎労災病院の山戸先生が講師、内容は高齢肺炎患者のリハビリテーション。QR コードを読み取れなかった参加者が複数いた。また、クラウドの容量不足でデータを保存できなかった。

7）壱岐・対馬・下五島 3 地区合同事例検討会について
3 月 7 日開催予定。変更点として、下五島も合同開催となった。症例について後期研修対象者に募集・依頼したところ、対馬と下五島で 1 症例ずつ。3 地区で協議し、合同開催となった。後期研修対象者が少ないことも理由として考えられる。発表者のメリットについての啓発が課題。

8）50 周年記念誌作成の進捗状況について
50 周年記誌について、原稿がそろったので確認してもらい、最終調整に入っている。塩塚先生の原稿や 57 ページは業者にもっときれいにしてもらう予定。作成に当たり、写真・記録が少ない。組織に記録する係を設ける必要性あり。編集後記には印刷会社も明記する必要がある。印刷物に関する規約も検討。完成後は自宅会員も含め各会員にも 1 冊ずつ送付する。

（3）その他報告事項

1）事務局 Zoom レコーディングデータの取り扱いについて
クラウドの容量不足によりデータ保存不可。対応として、学術研修会については学術資料部が保存、クラウドからの削除を行い、総務部も確認する。その他の研修会については、①クラウドにレコーディングをした場合、早めに担当者の方でダウンロード及びデータの削除を行う。3 か月以上削除されなければ総務部から担当者へ確認。②現在クラウドに保存されている令和 4 年 12 月末までのクラウドデータは 2 月末を期限として総務部で削除し関係者へ案内する。③2 月末までの研修会は担当者へ連絡し、レコーディングデータを PC へ保存いただくよう案内。

2）地区研修会ついて
地区研修会で会長挨拶はあるが地区部長の挨拶がない。今後検討する。

3）今後の研修会について
コロナが 5 類に変わることもあり、今後、対面研修会への移行を検討。

4）慢性期リハビリテーション学会について
第 10 回慢性期リハビリテーション学会が 3 月 9、10 日に行われる。会を通じてチラシを配布。

5）5 団体災害リハビリテーション研修会について
18 日開催の第 3 回研修会の参加が現在 22 名。対面形式。J-RAT の協力病院からの参加を呼びかける。

6）下条県議会議員応援カードについて
統一地方選を控え、下条議員の応援カード配布を予定。

7）骨折予防対策事業活動報告について
昨年度リーフレットを作成し、今年度は DVD 作成中。今年度中に作成したい。